

正教給代議院

「変形労働時間制反対」を全國に向け発言

2月8・9日に開催された「全日本教職員組合」の定期大会で、市教組の代議員が「変形労働時間制反対」の取り組みを発言し、全国に先駆け試行した市の実態と市教組の取り組みが注目されました。（以下発言全文）

り、教員の人数を増やす
ない限り、結局は見た目
だけの改革になる。」
「長期休業中に取得でき
る木みどり券をもら、本当

も、後16週の期間内には
み出た分の時間を正確に
柔軟に振り替えることができる『割り振り変更』
の方が、改変度合いと割度

のアンケートについては、「一番多かったものは1年単位の変形労働時間制の導入を希望するでした。」

生部 恵津子さん

主部



小の英語教育にいち早く飛びついたさいたま市は、グローバルスタディーと称し数年前から英語教育を異常なまでに推し進めています。英語専科の教員の配置やテキストさえ準備のないまま教育現場に丸投げするという施策に、各小学校では大きな負担を強いられてきました。今回も変形労働時制の導入へ向けて、昨年7月に1ヶ月単位の試行が実施され、多くの教職員からは「またか！」と、深いため息がもれるばかりでした。

市教組では試行実施以前からその中止や校名の公表等を求めましたが、試行直前までそれは明らかにされず、実施後のアンケート結果もなかなか開示されませんでした。先人たちが命がけで勝ち取ってきた8時間労働

組は、労使間の協定もな大義はありません。市教組は、労使間の協定もなまま不恰當に労働時間を延長する変形労働時間制の問題点を周知させるべく、緊急アンケートを実施しました。アンケートの反響は凄まじく、直ちに全市で200を超える回答が寄せられました。その結果は・・・

①変形労働時間制導入で長時間労働は解消するかの質問に、思わない89%、わからぬ8%で、思うは僅か2%でした。

②変形労働時間制に対しては、反対79%、わからぬ15%で、賛成意見は5%だけでした。

主な意見を紹介すると、「長時間勤務で過労死や精神疾患が増える」と思っています。1日8時間以内でないと健康で働けないと、内容を減らした

① 試行結果について
は、全てのモデル校で長期休業期間中に100%振り替えることができた。モデル校の多くで昨年の同時期に比べ勤務時間外の在校時間の減少が見られた。」と成果を強調した。あたかも変形労働時間制によって時間外労働が短縮され、振り替えもすべて実施され、いいことづくしであったかのように答弁しました。これは詭弁としか言えません。せ

員の働き方改革は、喫緊の課題、1丁目1番地と思つてゐるので、もしこれが効果が少しでもあるという制度設計ができるならば、やるべきだと考へている。」とかなり前のめりの答弁をしていました。しかし、弱いトーンながら、「まだまだ熟議が必要・効果がないということであれば、実施するつもりはない。」と答弁しているので、教

るが、業務量の削減はなく、長時間過密労働は全く変わらず、労働者を無視した制度です。導入させないととりくみとして

①職場や地域で対話を広げ、世論づくりを進めること（情宣活動を充実させること）

②市教委との懇談や要請・交渉を進めること

③各職場で管理職との協議・交渉を進めるうこと

④市議会で条例をつくらせないように働きかけ

労働が改善されないことになる。みんなにうつよい制度改革ではない。」の意見にあるように、制度の導入で肩身の狭い思いをされる弱い立場の方を絶対に見捨ててはならないと強く思います。

小の英語教育にいち早く飛びついたさいたま市は、グローバルスタディーと称し数年前から英語教育を異常なまでに推し進めています。英語専科の教員の配置やテキストさえ準備のないまま教育現場に丸投げするという施策に、各小学校では大きな負担を強いられてきました。今回も変形労働時の大義はありません。市教組は、労使間の協定もないままでに労働時間を延長する変形労働時間制の問題点を周知させるべく、緊急アンケートを実施しました。アンケートの反響は凄まじく、直ちに全市で200を超える回答が寄せられました。その結果は・・

「……前さういふのが嫌うで、本當に取扱できるかはまた別問題。有給休暇の消化が進んでいない中、現実的に延びるだけで、むしろ長時間労働を助長する」ではない。「労働時間が等があり、現場の苦労を強く訴えるものばかりでした。また賛成意見でも、「根本の業務量の削減や人員不足の解消を進められたら良い制度だと思つ。」

の力が、数日修むた制度と言えます。市教組では、このアンケート結果を情宣で公表し、さいたま市の教職員の世論形成を進めています。この問題については現場の関心は高く、情宣は大好評でした。

昨年12月のさいたま市議会で、変形労働時間制についての質疑が行われ、教育長は次のように答弁しています。

と近づき、現場に導入は前向きとの見解を示しました。しかしその実態はモデル校で記述回答した教職員が少なく、20数人の記述回答が多いとされたこと、「わからない」「変化がない」等の意見が正確にカウントされない等、アンケート 자체の信憑性が疑われます。

③1ヶ月の試行で今後の導入を決めてよいのか

女性渡辺
職員の世論を背景に組合の果たす役割は大きいと感じました。



る」との4点を重点に、今後も活動していきたいと考えます。

「育児や介護を抱えている人は対象外（これは文科省も言っている。）」てところが矛盾。育児や介護を抱えている人は持ち帰つて仕事をしているにもかかわらず、長時間

女性部



情宣No.253のパズル
の正解は「さくらお(を)
みるかい(桜を見る会)」。

抽選で以下の3名に図書
券を差し上げます。

本ページ <http://saitama6763.web.fc2.com/>

メモ帳 saitama@kyouiku-net.org